

同志社大学スポーツ健康科学部
2024年度 自己推薦（スポーツ）入学試験
結果講評について

同 志 社 大 学
スポーツ健康科学部長

同志社大学スポーツ健康科学部は、2023年11月1日に2024年度「自己推薦（スポーツ）」入試の合格者を発表しました。

この入試は、高等学校在学中、学業とスポーツに真剣に取り組み、大学入学後も勉学と競技活動の両立を目指す生徒さんを対象とするものです。出願に際しては、全国大会または国際大会に正選手として出場するとともに、高校入学時より第3学年第1学期末までの評定平均値が3.2以上であることが条件となります。

本入試は、第1次選考が書類審査（40点満点）と英語加点（20点満点）、第2次選考が小論文審査（50点満点）と面接審査（20点満点）で行われ、合格判定は、第1次選考と第2次選考の結果を総合（130点満点）して厳正に選考しました。

第1次選考における競技成績の判定に際しては、各競技種目の競技人口、大会の規模、競技バランス等も考慮し、また英語加点も加味して詳細に検討した結果、出願者75名中41名を合格としました。

第2次選考の小論文審査では、課題に対する論理的・客観的思考力および記述力を評価の主要観点としました。普段からスポーツ・健康科学にまつわる事象について関心や疑問を持ち、思考する習慣が必要となります。優秀な学生アスリートにとっては大切な態度・能力のひとつであり、同志社スポーツが目指す精神（自治自立）でもあります。

第2次選考の面接審査は、受験生1名に対して2名の面接官で実施しました。同志社大学スポーツ健康科学部への強い進学意欲があり、本学部の教育・研究等をよく把握している受験生が多数おりましたが、残念ながら大学での学習意欲を感じることができない方も若干名おりました。本学部はスポーツや健康に関するサイエンスを学習する場であると同時に、競技だけではなく広い意味での同志社スポーツの担い手になってくれることを期待しています。課外活動のみを希望される場合は、適切な進路先とは言えません。本入試の趣旨のとおり、入学後に学業と課外活動を両立させる強い意志を持つ方を希望しています。

以上の第1次および第2次選考の結果、最終的に28名の合格者を決定しました。最終倍率は2.7倍でした。スポーツ健康科学部の求める学生像に即して、様々な競技種目から文武両道に長けた優秀な方々を選出しました。この入試で合格された方々が、今後、本学部を経て社会やスポーツ界のリーダーとして活躍してくれることを大いに期待しています。

以 上

<2024年度 入試データ>

	合計	男子	女子
受験者総数	75名	50名	25名
第1次選考合格者	41名	26名	15名
第2次選考合格者	28名	17名	11名

<合格者の競技種目>

アイスホッケー、ボート、フェンシング、ハンドボール、空手道、剣道、テニス、ラグビーフットボール、レスリング、陸上競技、サッカー、ソフトテニス、射撃、少林寺拳法、卓球、スポーツクライミング、ヨット、軟式野球、チアリーディング、ダンス

2024年度 同志社大学スポーツ健康科学部
自己推薦（スポーツ）入学試験
小論文 試験問題

受験番号

- 注意：1. 解答は別紙の解答用紙 1 枚にすること。
2. 問題用紙・解答用紙を持ち帰ってはならない。

<問題>

人間・地球及び繁栄のための行動計画である国連SDGs（持続可能な開発目標）では、「スポーツもまた、持続可能な開発における重要な鍵となるものである。我々は、スポーツが寛容性と尊厳を促進することによる、開発及び平和への寄与、また健康、教育、社会的包摂目標への貢献と同様、女性や若者、個人やコミュニティの能力強化に寄与することを認識する」（国際連合広報センターHP）として、SDGsの達成に向けたスポーツの役割が期待されています。

あなたなら、このスポーツによるSDGsの推進にどのように取り組みますか。あなたが取り組みたい具体例とそれを選んだ理由、そして、その取り組みの実現可能性と効果を高めるための方法について述べてください。

<800字以上1200字以内。ただし改行等による空白部分を含む。>

（以下余白。余白は下書きに使用してください。）